

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	35
施設名	葛飾区会野保育園
施設所在地	葛飾区奥戸5-23-7
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

色  
～いろいろな色を見つけよう。塗ってみよう～

<テーマの設定理由>

園内に色とりどりの植物があることや、季節の装飾を工夫している環境を生かし、子どもたちにとって身近な存在である「色」をテーマに設定する。

## 2. 活動スケジュール

令和7年5月 テーマを決定  
令和7年6月 必要物品等実施準備  
令和7年7.8月、令和8年3月 実施（内訳：7月3回 8月2回 3月2回 計7回）  
令和8年3月 振り返り

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

72色の色鉛筆、数種類の柄のマングラ塗り絵を用意する。色鉛筆は色の系統で分けておく。一日の生活の中で子どもたちが「集中してやりたい。」というときにすぐに取り組めるよう、カゴに全てをセットして移動しやすくしておく。年齢ごとの取り組み方は各クラス担任に任せて、他のクラスに移動して行う時は声を掛けあう。少人数で取り組めるように、コーナーを設定して集中できるようにする。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

各クラス年齢に応じた色鉛筆の使い方を決め、他のクラスの職員に伝える。系統で分けた色鉛筆を使用することで、同じ色でも少しずつ色味が違うことに気づく。その中で好きな色の組み合わせや、その色に近づけるためにはなどの探究を行う。その様子はメモ・写真で記録する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

年齢別に活動の時間と色鉛筆を使っていく。他のクラスにも個別に行き、活動する時間を確保していく。活動中の様子を担任が入れ替わって見たり、出来上がった作品をクラス内に掲示することで、子どもたち同士がお互いに色について話し合う姿が見られた。3月は年齢ごとの活動内容を設定し、年齢にあった色の探求を深めた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちそれぞれが色を塗ることを丁寧に行うようになり、考えて使うようになった。年齢ごとにアイロンビーズ、折り紙、塗り絵、折り紙など他の遊びでも色を意識して遊ぶようになる。年長クラスは「つかめない物にも色がある（例：曇、空など）」と探求の幅が広がっていった。